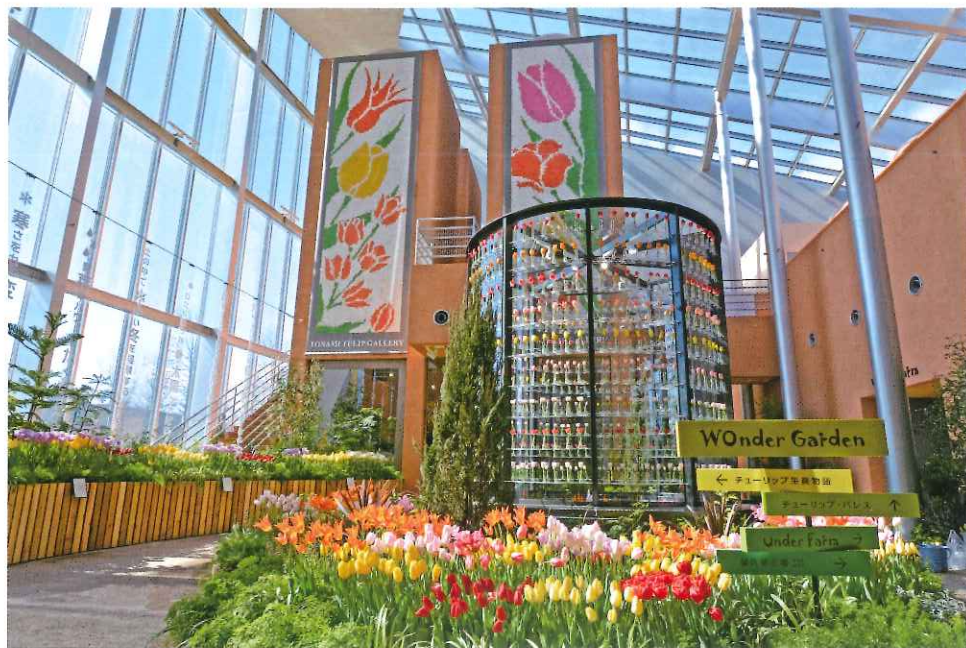


# チューリップ 四季だより



2016  
Vol. 71

チューリップ四季彩館は、平成28年3月10日にリニューアルオープンしました。  
上段：「ワンダーガーデン・・・チューリップパレス」  
中段：「ワンダーガーデン・・・パレットガーデン」  
下段：「アンダーファーム・・・チューリップ絵巻」

# チューリップフェア期間中の チューリップ四季彩館見どころ紹介

## リニューアルした常設展

チューリップ四季彩館の開館20周年を記念し、リニューアルオープンした常設展エリアは、最新の技術を駆使し、子供から大人まで幅広い年齢層の方々が楽しく、チューリップについて学べる施設になりました。

1000品種のチューリップの写真と15の系統を紹介する模型が飾られたプロログトンネルを抜けると正面に印象的なガラスのオブジェが現れます。このチューリップパレスには、北陸新幹線のフロントガラスにも使われている砺波市の企業が加工した曲げガラスで



できた高さ3.7mの大きな壁には504本のチューリップ切り花が並びます。差し込む光がガラスの

壁に反射して、チューリップがキラキラ輝くように見える様子はまるで水族館の海中トンネルのようです。

チューリップが芽を出してから、葉や茎を伸ばし、蕾が膨らみ開花するまでが見られる「生長物語」や、鏡に囲まれ、万華鏡のようにチューリップが見える部屋、「パレットガーデン」ではチューリップの香りも楽しめます。



ミュージアム部分の「アンダーファーム」は地下空間をイメージしたスペースとなりました。自分が小人になりチューリップが植えられている地中を探検して、チューリップ球根の仕組みや開花の様子を見ることが出来ます。映像と音

声ガイドダンスでわかりやすく解説しています。

この他にも、チューリップの原生地の風景や、どのような歴史を経て園芸品種として人気を博し、日本にたどり着いたか。それぞれの時代、場所によって、花の色や形に流行があったことなど、チューリップの秘密がたくさん詰まっています。

## フェアの歴史を振り返る企画展

ホールを会場とした特別企画展は「ヒストリー オブ チューリップフェア」をテーマに、第1回のチューリップフェアが行なわれた1950年代から10年毎に展示ゾーンを区切り、その当時のフェア会場の様子をイメージしたチューリップの展示と年表や写真でこれまでのチューリップフェアの歩みを振り返る展示です。

この展示はチューリップフェアプレイベントである第30回春を呼ぶチューリップ展で先行して行なわれました。見覚えのある風景に、かつて来場した頃を懐かしく思い出す会話が多く聞かれました。

チューリップフェアの歴史とともに、多くの方の思い出も一緒に振り返る展示となり、チューリップ公園や四季彩館で新しい思い出作りをしていただければ幸いです。



# スタツフがオススメする チューリップフェアの見どころを紹介

## 「チューリップ公園」

昨年5年振りに復活したフラワ―ヒルは今回、「花の大谷」として更にグレイドアップして登場します。高さ3.5m、長さ10数mの壁に2万5千本のチューリップが咲き誇ります。「雪の大谷」ならぬ「花の大谷」はどのような景色を見せてくれるのでしょうか。チューリップ公園野外ステージ横に注目です。



2016チューリップフェア大花壇



また、大花壇は「見つめあう二人」をテーマにデザインしました。チューリップタワーからの眺めは抜群ですが、実は砺波市文化会館屋上のパノラマテラスもオススメです。チューリップタワーと一緒に大花壇の地上絵を写真に収めることができるのです。まだ登ったことのない方、今年是非、パノラマテラスからの眺めをご覧ください！

(公園担当 水木)

## 「富山県花総合センター」

950種類の四季折々の草花や花木を楽しむことができる園内には、原種ランをはじめ亜熱帯植物が見られる展示温室と企画展示や講座を開催する本館があります。その他、西洋シヤクナゲ花壇、バラ花壇等それぞれテーマを設けた花壇が多数あります。

春のお勧めはスイセンほ場です。様々な花形を持つ220品種が4月中旬頃から見頃を迎えます。

また、本館ではフェアの期間に合わせ特別展示「花の国のアリス」を開催します。ふしぎの国のアリスの世界をチューリップなどの花々で表現します。

そして、フェア期間のイチオシが「ワンコイン体験コーナー」です。材料費500円で「プリザーブドフラワーのアレンジメント」や「多肉植物の寄せ植え」が楽しめます。開催日はフェア期間中の土日祝日、午前10時から午後3時までです。



フェア会場東門から東へ400m、八重桜の並木を楽しみながら花総合センターへぜひお越しください。

(花総合センター担当 早苗)

## 「砺波市美術館」

荒井良二さん(1956年山形県生まれ、東京都在住)の作る絵本は日常のささやかな出来事を題材に読者を空想の世界へと誘います。そこにはまるで子どもが夢中になって描いたような自由で大胆な絵が描かれ、リズムカルな言葉が添えられています。

『バスにのって』(1992) 『スキマの国のポルタ』(2006) 『たいようオルガン』(2008) 『イノチダモン』(2014) など、多くのヒット絵本を生み出し、現在も日本を代表する絵本作家として活躍中です。

25年以上にわたる絵本作家活動の中から、代表作の絵本原画約300点を展示します。さらにアイデアスケッチにより絵本が生み出される秘密にも迫ります。多彩な活動の一端を紹介する映像コーナーや、この度の展示に制作された作品や屏風の大作などを含めた盛りだくさんの内容でお届けします。

荒井良二さんの考える「スキマの国」の世界をお楽しみ頂ければと存じます。



たいようオルガン ©2007.Ryoji ARAI

(美術館担当学芸員 末永)

## 「砺波市文化会館」

『みて！あそんで！影絵ワールド！』

フェア会場に入ると、右側に向かって不思議な大きな足跡が…。そしてその先にはまあるい地球を思わせる動物たちの影が皆さんを歓迎します。

黒いトンネルをくぐると、影絵の遊び場です。ここでは、動物たちの影絵人形を使ったり、手で影絵をつくってスクリーンに映し出す体験ができます。また、イラストの見本を見ながら自ら影絵人形をつくれるコーナーもあります。



そして、もう一步奥のホールでは、毎日、「劇団かかし座」の手影絵ショーを観ることができま。入場は無料です。色とりどりのチューリップの美しい花々とともに、この機会に子どもから大人まで誰もが楽しめる手影絵パフォーマンスを是非楽しんでください。

(文化会館担当 高島)

# チューリップ四季彩館の展示スケジュール

期間	テーマ	展示内容
3月10日(休)～ 5月10日(火)	春の庭	チューリップを主とした展示
5月12日(休)～ 6月14日(火)	初夏の庭	アジサイやギボウシを主とした展示
6月16日(休)～ 7月19日(火)	夏の庭	ユリやアンスリウムを主とした展示
7月22日(金)～ 9月20日(火)	盛夏の庭	グズマニアなど熱帯植物を主とした展示
9月22日(休)～10月18日(火)	秋の庭～ハロウィン～	キクやコリウスを主とした展示
10月20日(休)～11月15日(火)	晩秋の庭～七五三～	キクやサルビアを主とした展示
11月18日(金)～12月25日(日)	クリスマスの庭	ポインセチアやシクラメンを主とした展示
12月26日(月)～ 1月17日(火)	新春の庭	チューリップやハボタンを主とした展示
1月19日(木)～ 2月21日(火)	早春の庭～バレンタイン～	チューリップやプリムラを主とした展示
2月23日(木)～ 3月28日(火)	早春の庭～ホワイトデー～	チューリップやスイセンを主とした展示

## 孫とお出かけ支援事業について

砺波市、富山市、小矢部市、南砺市、射水市にお住まいの祖父母と孫（ひ孫）と一緒に来場されると入館料が無料になります。



## 休館日のお知らせ

5月11日	10月19日	12月29日	1月 3日
6月15日	20日	30日	11日
7月 6日	11月 9日	31日	18日
13日	16日	1月 1日	2月15日
9月21日	17日	2日	3月29日



## チューリップ四季彩館 LINE公式アカウント

最新情報やお得なクーポンを配信中！  
キミもともだちになろう！



## 夏季特別企画展のお知らせ

**出現！**  
**妖怪ウォッチランド**

キミも妖怪と友だちになろう

日時 平成28年7月20日～8月10日  
午前9時～午後6時  
会場 チューリップホール

開催決定!!

チューリップ  
四季彩館のHPが  
新しくなりました

イベントや開  
花情報、講座の  
案内や貸しホ  
ールの利用状  
況など四季彩  
館とチューリッ  
プ公園の情報  
が満載です！



 **チューリップ四季彩館**  
TONAMI TULIP GALLERY

〒939-1381 富山県砺波市中村100-1  
TEL(0763)33-7716 FAX(0763)33-0090  
http://www.tulipfair.or.jp

チューリップ四季彩館 検索

2016年3月発行